

ウクライナにおける問題点と要望

	区分	意見元	No	問題点	問題点内容	要望	準拠法
13	金融	日機輸	(1)	非居住者から居住者への融資規制	・非居住者から居住者への融資は、中央銀行への事前登録が必要で、クロスボーダーローンの期限前返済は原則禁止されている等の規制があり、グループ間融資の機動性が損なわれる。また、現地に支店を有する銀行が少ないため、銀行選定の選択肢が限られる。 (継続)	・当該規制を撤廃して頂きたい。	
		日機輸	(2)	資金借入の困難	・資本規制の一環として、外貨購入のためのウクライナ現地での借入れが禁止されている。このため、銀行借入れをした場合、外貨購入および輸入対価の支払いが許可されない可能性があり、実質的に銀行借入れができず、資金繰りに影響を及ぼし経済活動に制限されたり、輸入支払いが遅延する可能性がある。 (継続、要望変更)	・外貨規制を緩和して頂きたい。 ・外貨購入のための現地借入れを解禁して頂きたい。	
14	税制	日機輸	(1)	税務問題	・税務当局からは、民間企業に対して不透明な理由で更なる税支払いを要求する裁判も多数あるなど、依然として不公正な状況。	・税務行政の公正な運用して頂きたい。	
17	知的財産制度運用	日機輸	(1)	密輸品	・ウクライナの西側国境から密輸品が多く流入してきているため、正規輸入品の販売が低下している。	・密輸品の取締の強化して頂きたい。	
23	諸制度・慣行・非能率な行政手続	日機輸	(1)	競争法上の情報収集における不適切な運用	・ある買収案件において、ウクライナ競争法当局へ企業結合審査の申請を行ったが、以下の課題が生じた。 - 買収対象事業に関係のない分野の事業やそれに関する市場の情報を求めることを繰り返し、不必要に審査手続が遅延する。 - 当社本社取締役のパスポートコピーや個人住所など、企業結合審査と関係のない個人情報を収集する。 (継続)	・競争法上の審査の本来の趣旨に基づき、不必要な情報を求めない運用をお願いしたい。	